

ダリア賞受賞者一覧表

年	回	受賞者	年齢	奉仕内容
1969	1	甲斐 易	19	献血で人命救助
	2	大久保宏二		多年にわたって子供会の育成に尽力
	3	藤岡 芳穂	61	永年業務のかたわら献身的に交通指導にあたる
		鳥丸 満雄	49	〃
		川口 敏明	55	〃
	4	飯塚 春子	60	江南病院開設より定年まで雑役婦として勤め上げる
	5	藤田 盛治	60	詩吟を地域社会に普及し、特に受刑者、身障者へ奉仕
	6	島中 保	42	昭和22年以来ボーイスカウトの育成に奉仕
	7	坂元孝紀	30	献血運動に積極的に協力、20回以上
		久家静子	59	〃
		荒川省次	24	〃
		宮本善則	55	〃
	8	川添栄光		青年団活動に積極的に参加、市青年団協議会をつくり、その隆盛を見るに至る
	9	斉藤友則	48	32年間無事故で国鉄勤務。機関士養成に尽力
	10	日高鉄夫	54	厳しい風雪を冒し40年間郵便集配職を果す
1970	11	大宮中生徒会		自発的に平和台の清掃を6年間にわたり続行
1971	12	松本貞六		30年にわたり安全運転無事故で後輩指導
	13	黒木征士露		身障者を指導して特産の銘木ユス箬を製造、明るい目標を与えた
1973	14	宮崎サト		按摩業を長期間営み身障者の灯となり指導した
	15	恒吉増夫		県公園協会職員として長年緑化運動に一身を捧げた
	16	有馬静夫	67	市清掃課に長年勤務、その状態は同課の範である
1974	17	小田国雄	58	新聞発行の縁の下に長年働く
	18	甲斐フサ子	29	看護婦さんの職業倫理訓であるナイチンゲール誓詞の実践者として
1975	19	林 国夫	40	自然と人情の美をキャッチフレーズとする観光宮崎のタクシー運転手
	20	中武良久	52	身障者として肢体不自由者に社会復帰の希望を与えている障害センターの先生
1976	21	大宮司国男	66	ナベ、カマ、傘の修理をしながら小中校に楽器を贈る救世主
1977	22	有村政則	41	「観光は心を奉仕することから」をモットーにハンドルをにぎるタクシーの運転手
1978	23	宮本美雄	59	盲学校教師として誇りと愛情を持ち27年、遂に自力でエデンの園をつくられた
1979	24	渡辺 中	58	市の清掃事業一途に30年
1980	25	野門幸一	60	学校用務員として環境整備にうちこみ児童に慕われる
1981	26	外山良治	32	身障者のハンディーにもかかわらず自立印刷を開業。さらに写植技術者を養成する
1982	27	岡本 克		宮崎市塗装業協会。会員が無償で児童公園のベンチなどの塗り替えを行う
1983	28	渡辺辰男	69	紳士服裁断士として55年。天職として打ち込んでおられる
1984	29	佐藤松尾	73	和紙人形作り20年。郷土民芸品、伝統民芸品に大きく功績を残す
1985	30	安井早智子		杞柳生産組合。製品の作製に励まれ、工芸品として高い評価をうける
1986	31	藤野忠利	49	市内各所で絵画教室を開き、絵画を通して児童の全人格的教育を行う
1987	32	久米亀二郎	88	邦楽器製作70年、その発展に尽力された
1988	33	森山 修	54	10年前、画廊開業。一周年を記念してチャリティー色紙展を企画し、以来その益金を寄付。
1989	34	豊浦謙治	59	日本の食文化の研究、東南アジアの食文化の研究に研鑽された
1990	35	財津達夫	70	表具師として55年。卓越した技術者として、又、後継者育成への献身が高く評価される